

# まきむく草庵 ニュースレター

Vol. 13

2016年05月号



## 5月5日 端午の節句です

端午の節句の由来と意味を調べてみました。もともと「端午」は月初めの午の日で「端」は始めを意味し「午」は「五」に通じることから、午月（ごげつ）の午の日、5月5日を指すようになったそうです。古代中国では急に暑くなり病気になるやすい5月は強い邪気があると考えられ、邪気払いに菖蒲酒を飲むといったような風習がありました。一方日本では女性が田植えをする役割を担っていましたが田植え前に身を清める「五月忌み」という禊ぎの風習がありました。このふたつの風習が結びつき、端午の節句となったそうです。鎌倉時代になると菖蒲が武道を重んじるという意味の「尚武」と同じ読み方であることから縁起が良いとされ、江戸時代にはそれが庶民にも定着し、男の子の節句としてお祝いするようになったそうです。

現在、あちらこちらで見かける鯉のぼりは「黄河の急流に竜門と呼ばれる滝があり、多くの魚が登ろうとしたが登り切れたのは鯉だけで、その鯉は竜になった」という中国の故事がもとになり、男の子の出世を願う意味があるそうです。

まきむく草庵でも皆様の健康と、子供たちの健やかな未来を願って各フロアで利用者さまと、鯉のぼりを作成しました。ご面会等の際には、是非ご覧いただけたらと思います。



## リハビリより・・・ 5月より作業療法士が 入りました！

5月よりお世話になります作業療法士の  
田中彩希です。作業活動を通して楽しみながら  
一緒に元気になればと考えています。  
今後とも宜しくお願いします。



田中彩希OT



### お問い合わせ

デイケア担当 津本英樹  
入居担当 藤井智子  
津本晴美  
松本圭子

介護老人保健施設  
まきむく草庵  
TEL 0744-45-1502(代)